

わんぱく公園でいったりきたり

2007年12月16日 パークOツアー in 関西 第1戦

KOLA
横田実

海南市わんぱく公園で行われたパークOツアー in 関西第1戦。当日は、曇りで走り回するには最適？ 狭い公園ですが、結構なアップダウンで楽しめたかな。

パークO第1戦

「パークOツアー in 関西」とは、関西6府県（大阪・京都・和歌山・兵庫・滋賀・奈良）での6連戦のパークOをポイント制で競うもので、「パークOの普及と一般への認知」「オリエンティアのモチベーション向上の一つ」「各府県協会の連携・交流」の3つを目的に行われています。今回は、2007年度大会の第1戦。残念ながら、今年は奈良の開催見送りが決定し、5戦方式になりました。



新マップで開催

今回は、パークOということではJSSOMの基準に従ってリメイクされたわんぱく公園。縮尺は1:4,000で等高線が2.5mだったので、等高線がかなり詰まっている。地図を見た目に「かなりの登り」に見えるためハードに見えてしまう。コースとしては起伏に富んでいて、おもしろかったです。

いったりきたり

狭い公園内で優勝設定タイムを25分程度にするために実施された方法は「2マップ方式」。しかも、同じマップの中でも、あっちへいったりこっちへきたり。登り降りの嫌いに僕としては、距離があってもと思い、池周りの木道を走ることが多くなって、2往復もしてしまいました。他の人はどうだったのかな。

裁定委員だけど

このパークOはカテゴリSの公認大会。当然競技規則に則って開催され、僕も初めて裁定委員を頼まれた。12月のコントローラ講習を受けて准コントローラ資格を取ったばかりなので、声をかけられたこと自体がうれしかった。でも、裁定委員は提議の裁定を下すものだから、用がないにこしたことはない。

今回は、そんな問題はなかったが、『複数通過コントロールにおけるミスパンチについて』の課題がでた。例えば、41番コントロールを2回通るようなコースを組んだときに、eカードのバックアップラベルでは、通過の確認が曖昧になるということです。実際、隣接コントロールを通過して、複数通過をしなかった人がいましたが、これはeカード内のデータではっきりわかるためにペナとして確定できましたが、本当にeカードがダウンしていた場合は確認不可能です。これは、回避不可能な問題なのではないでしょうか。

適切なクラス参加？

それとこれは全く個人的な判断なのですが、今回僕はMAに参加。トップは30分程度に対して僕は42分。楽しめるくらいいいわと思ってMA参加していますが、やはりあまりにもレベルが違くと危険なことにもなりかねません。運営者としてみる場合、200%を超える場合は、そのクラスの参加を見合わせるようにすべきなんじゃないかな。

大きくみれば、他のクラスでの参加資格の問題にもなってくると思います。特に競技規則4.1を現在はガイドラインでさらに細かく規定しているので、どうすべきか議論の必要があると思います。

(横田実)

